

事業評価書

補助事業名	東村立保育所運営事業					
補助事業者名	東村長					
実施場所	東村平良地内					
補助事業の成果の目標	<p>本村保育所は、村内に居住している就学前児童に対して保育活動を実施し、子育て世代の定住を促進するため、11時間保育など保育サービスを充実させている。</p> <p>平成24年度より保護者の疾病等による緊急的な保育並びに育児に伴う保護者の心理的及び肉体的負担の軽減を図るため一時預かり保育を実施し、利用しやすい保育所の運営を行うため、調整交付金を充当し保育環境の改善を行ってきた。</p> <p>今後も安定的な保育運営を行うことで保育環境の維持を図る。 (参考指標) ○保育活動日数(9月～3月)：163日</p>					
補助事業の内容	保育士6名、調理師1名					
補助事業の始期及び終期	平成27年度					
事業費及び交付金額		27年度				計
	事業費	円 18,757,300		円	円	円 18,757,300
	交付金額	17,854,000				17,854,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【保育所の安定的な保育環境の維持についての成果及び評価】 本事業を実施したことにより、安定的な保育運営を行うことができた。事業期間中の保育活動日数は168日となっており参考指標を上回っている。また、一時預かり保育を利用した保護者へアンケートを行った結果、「一時預かりが子育てに役立った。」、「今後も続けてほしい。」との回答があり、保護者の心理的及び肉体的負担の軽減を図ることが出来ていると評価する。</p> <p>【地域住民への周知の状況】 1) 村ホームページに掲載。 2) 村広報誌に掲載。 3) 保育所園児募集広告による掲示。</p>					
事業の改善措置及び今後の対応	今後も保育従事者を安定的に確保し、通常保育と一時預かり利用者の維持を目指す。					
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無					

事 業 評 価 書

補 助 事 業 名	東村地域福祉支援運営事業					
補 助 事 業 者 名	東村長					
実 施 場 所	東村平良地内					
補助事業の成果の目標	<p>本村は、乳幼児から高齢者まで健やかに地域で生活できるよう介護・保健・福祉・医療等の支援体制を構築している。本村は高齢化社会に伴い支援の改善・強化をしている状況である。</p> <p>生活習慣病の予防と村民の健康づくりのために運動サークルを実施し、地域住民へ健康に対する意識改善を促す取り組みを行ってきた。</p> <p>レク活動や野外活動等を行う『ふれあいサロン』の実施時間を前年度より5時間へ変更し、新たな取り組みとして個別運動指導や隣接する保育所の園児との交流も取り入れ、高齢者が生きがいを持ち、要介護状態となることを予防するとともに、住み慣れた地域において自立した日常生活を営むことができ、健康で生き生きとした老後生活を送れるよう支援を図っている。</p>					
補 助 事 業 の 内 容	社会福祉士 1名、看護師 1名、保健師 2名					
補助事業の始期及び終期	平成27年度					
事業費及び交付金額		27年度				計
	事業費	円 7,773,000		円	円	円 7,773,000
	交付金額	7,203,600				7,203,600
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【高齢者の生きがい作り及び要介護状態の予防についての成果及び評価】</p> <p>本事業を実施したことにより、乳幼児から高齢者まで健やかに地域で生活できるよう介護・保健・福祉・医療等の支援体制を維持することが出来た。</p> <p>事業期間中に、ふれあいサロンに参加した方、運動サークル並びに福祉相談に来られた方へアンケート調査を行った結果、「生活が充実している。」「今後も続けてほしい。」との回答があり、高齢者が生き生きとした生活を送れるよう支援出来ていると評価する。</p> <p>【地域住民への周知の状況】</p> <p>1) 村ホームページに掲載。 2) 包括支援センター(福祉相談実施場所)で掲示。 3) 村広報誌に掲載。</p>					
事業の改善措置及び今後の対応	支援を必要としている住民へ最適な支援が届くように実施事業の周知を強化していく。					
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無					

事業評価書

補助事業名	東村社会体育施設備品購入事業						
補助事業者名	東村長						
実施場所	東村平良地内						
補助事業の成果の目標	<p>本体育館は村唯一の村営体育館であり、平成14年に村民の健康及び体力増進を目的としたトレーニング室を増築した。</p> <p>現在、設置されている既存の器具はコンビネーションマシンや腹筋台など各1台しかない為、利用者より他の機器の設置及び機器の充実を求められている状況にあり、当施設を一般利用者を対象とした運動教室、アドバイザーを登用したトレーニング教室の開設も計画していることから運動機器の充実化を求められている。</p> <p>このことから、本事業により運動機器を購入し、施設の充実化を行う事により、村民の健康及び体力増進を図るものである。</p>						
補助事業の内容	運動器具一式						
補助事業の始期及び終期	平成27年度						
事業費及び交付金額		27年度					計
	事業費	円 10,454,400	円	円	円	円	円 10,454,400
	交付金額	8,852,400					8,852,400
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【施設の充実化についての成果及び評価】 本事業を実施したことにより本施設が充実し、老若男女問わず利用者が増加し村民の健康及び体力の増進に寄与している。 また、健康運動指導士による運動器具の取扱いの指導や、利用者レベルに合わせた健康管理を含めたトレーニング計画の支援を実施している。 器具導入後に利用者アンケートを実施した結果、利用者からは催しや教室等、また、機器の利用方法など総合的に非常に満足しているという結果が多かったことから、トレーニング施設の充実が図られたと考えられる。</p> <p>【地域住民への周知の状況】 1) 村広報誌に掲載。 2) 村ホームページに掲載。 3) 各備品へ「平成27年度沖縄防衛局調整交付金事業」と記載。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	備品の管理を徹底し、安全な催しや教室等を実施し、村民の健康やかな体と生きがいつくりの推進と地域活性化を図る。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						